

日本人の平均寿命が発表され、男性は 歳
女性は 歳で世界の座を守っていることが
わかりました。
女性は去年よりのびましたが男性は去年を下回り
ました。その理由は男性中高年の自殺が増加した
ためだそうです。
不景気はこんな所にも影響が出ています。 が、
生命の大切さが身にしみる私たちにとって自殺者
が多いというのは耐えられません。
生命は自分一人のものではありません。
死んだ気になればなにか、何かできるのではない
でしょうか。

< 第 5 0 回 ほほえみの会 >

真夏の暑い日差しの中、梅田先生はじめ 6 人が参加しました。
今は病棟の入院患者も少ないようです。
あわせて外泊者も多く病棟内は静かだということです。
また最近では白血球を増やす薬もできて入院期間も以前に比べ短くなっ
てきているそうです。

肺芽腫という全国にも 10 人くらいの患者しかいないという珍しい
病気で入院した 3 歳の女の子。
手術も無事終わり治療も順調に進んでいるが、5 歳の兄が幼稚園で
問題児になってしまい困っているということです。
幼稚園で友達と遊ぶことが出来ず職員室に閉じこもったり、おもち
ゃを独り占めしたりするそうで、先生から感情の起伏が非常に激し
いともいわれているそうです。

患者の兄弟が精神的に不安定になる問題は他の方からも出ました。
親が病院に行っている間に兄が家のお金を持ち出しおもちゃをいっ
ぱい買って友達に分け与えていたという体験談もありました。
きっと家に帰っても誰もいない寂しさから友達には近くにいて欲し
くておもちゃで気を引こうとしたのでしょう。
しかし親は最初それがわからず隠していたおもちゃを見つけた時に
は万引きでもしているのではないかと心配したということです。
その後父親と泊まりがけでキャンプに行き遊び、それ以降もなる
べく目をかけるようにする内に落ち着いてきたということです。

2 例目の臍帯血移植の状況報告もありました。
移植をして 6 6 日。無菌室を出て個室に移ったもののまだ食べられ
ず白血球の伸びも低い。しかし調子のいいときにはパソコンも出来
るほどになったということです。
総体的に臍帯血移植の場合は白血球の出だしは早いもののその後が
伸び悩む傾向にあるということです。また血小板の上がりも遅いと
のことです。
回復していく息子を見て改めて臍帯血バンクの整備をし普及を是非
お願いしたいということです。

こども病院に家族宿泊施設「コアラの家」が完成しました。
これまで遠隔地から入院している家族は病院近くにアパートを借り
て生活していましたがこれからはこの施設を利用することが出来ま
す。
施設は病院前の看護婦宿舎を一部改造したもので 2 K タイプと 1 K
タイプが各 3 戸あわせて 6 戸です。風呂、トイレ、エアコンの他、
冷蔵庫や洗濯機、掃除機も備わっています。
1 週間以上入院の家族で入居希望者は病棟の看護婦さんに相談をし
て下さい。費用は 1 泊 1 人 1 0 5 0 円（光熱費込み）です。

次回は 9 月 1 2 日（日）1 2 時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一